

会報

もくじ

芸術文化振興会議会長に就任して……………	1
開幕行事のねらい……………	2
中幕行事について……………	3
閉幕行事について……………	4
新会員(副会長常任理事)紹介……………	5
本年度基金事業一覧表……………	6
県洋舞踊協会のあゆみ……………	7
お知らせ……………	8,9
本年度芸振役員・事務局員名簿……………	10



大分県芸術文化振興会議

No. 80

2.9

■発行人: 仲町謙吉 ■編集人: 後藤正二

(題字 首藤春草)

芸振会議会長 に就任して



大分県芸術文化振興会議

会長 仲町謙吉

平成2年度大分県芸術文化振興会議定期総会において、
図らずも会長に選出され身の引き締まる思いで重責を痛
感している。

思うに前会長(現 名誉会長) 狭間正年氏の12年間の業
績は偉大である。県芸術文化基金の創設がその一である
昭和54年から6年間に亘る企業・文化団体・個人と幅広
い募金活動の展開、前副会長宮崎豊氏もよく守り立て、

予定以上の成果をあげ、平松知事の深い理解を得て県費1億5千万円と合せ3億
数千円円の県芸術文化基金を完成させた。これで県芸振は、県内文化団体の連絡
提携機関から事業推進団体となった。基金運用事業は、①芸術鑑賞事業(ファミ
リ-芸術劇場・学校巡回公演・展示)、②地域文化活動促進事業(文化キャラバ
ン)、③芸振加盟団体補助事業(団体事業補助・海外研修派遣補助・刊行物の発
行補助等)である。このことにより県内の文化活動は目覚ましい活性化がすすめら
れた。

その二が「豊の国文化創造県民会議」座長として、平松知事に「豊の国文化創
造について」答申を提出したことである。この中で21世紀の県民文化振興のため
「国民文化祭」の誘致、公的文化施設の整備、人づくり、等が提言されている。
これらは前狭間会長の主な業績である。この路線を踏え、県芸振はどう対応して
いくかが今後の大きな課題となっている。県芸振の26年の歩みを経て築き創られ
た文化伸展の役割と責任、今の時代的社会的芸術文化に対する
期待と使命に応え、心の豊かさを享受できるよう努力をしなければならぬ。県民が文化の香り高い豊かな社会を志向するこ
とはごく自然な成り行きでもある。また今ほど企業や国などによる芸術文化へのアプローチが急速に拡大されていることはあ
るまい。2月には民間有志によるメセナ(芸術文化支援)活動
を目的とする「企業メセナ協議会」の発足、4月には国が「芸
術文化振興基金」を発足、(国が500億円・民間100億円の計600
億円)、7月には「ワンパーセントクラブ」の発足、経団連が会
員各社に呼びかけ、所得の1パーセント以上を社会奉仕に寄付
していく、などがみられる。県も県教委文化課とは別に知事部
局に文化振興室が4月から新設され、国民文化祭誘致に向け、
県民文化祭の準備、県立ホール、美術館、図書館等文化施設の
建設へと具体的に動き始めている。この時、県芸振は厳しく組
織や事業の実態を反省し、身を正して、脚腰の強い文化団体の
発展に尽し、これを基本に期待に応えるべく、芸術文化の根を
下ろすよう励みたいと願っている。

十時 良(自由美術会員)

第26回大分県芸術祭



伝統文化としての「民謡」を後世に

日本民謡梅幸会会主 森山幸吉
コロムビアレコード専属

日本民謡梅幸会は、今年第26回大分県芸術祭開幕公演として「豊の国民謡の旅」を10月3日、中津文化会館で上演する。

梅幸会は昭和62年にも宇佐文化会館で第23回大分県芸術祭で開幕公演を担当したことがあり、今回中津で再び開幕公演を担当することになったことは、誠に喜びにたえない。

本年度の開幕公演は、当初、竹田会場が予定されており、梅幸会に指名があった当時より竹田を中心とした民謡を、ということで準備を進めてきたが、7月2日、竹田地方を中心に襲った未曾有の大洪水により、会場の竹田文化会館が使用不能となり、急きょ来年度予定の中津会場が今年度に繰り上げ、決定された。発表内容も当然変更となり、短期間ではあるが、関係市町村の民謡が発表できるように全力をあげて取り組んでいる。

民謡には祝い唄のように喜びの唄・作業唄のように収穫の喜びや、労働のつらさを唄った唄、盆踊り唄のように供養の唄など、人々の生活に根ざした唄が多い。あるいは生活そのものといってよい。人々の生きざまと、様々な思いが息づいている。人々は他郷にある時、ふと、ふるさとの唄を口ずさむ。そして、自分の存在を確かめる。民謡は心のふるさとであり、心のよりどころである。そして、何百年も唄い継がれてきたふるさとの唄も失われつつある。私はそうしたふるさとの唄を後世に残すべく、これまで県下各地に埋もれている民謡の発掘を手がけてきた。一つの唄を作り上げるまでには昔の唄を知っている古老を尋ねて何度も足を運び、曲想をつかむために話を聞き、何度も唄ってもらうということを繰り返してきた。しかし同一人物でも、1ヶ月後2ヶ月後と行く度に唄い方が違い、間が、節が違い、まして他の人の唄を聞けばさらに違った唄い方をするといったありさまであった。口伝えでは後世に残し、大勢の人に親しまれ、口ずさんでもらうことは難しい。消えていくのではないかと感じた。何百年来の伝統文化を次の世代に保存、継承していくため、また、誰でも自由に唄い奏でることができるようにと、県下各地で発掘した民謡を五線譜にとり、冊本にまとめている。こうした県下各地の伝統文化である民謡に民謡に光を当て、今回も開幕公演として取り上げられた県当局に深く感謝している。今後も、埋もれている各地の民謡の発掘に力を注ぎ、地域に密着した活動を続けていきたい



中幕行事について

豊かに響く長唄の秋

楽友会 芳村 伊久之介

今回第26回大分県芸術祭中幕行事を頂きまして誠に有難うございました。

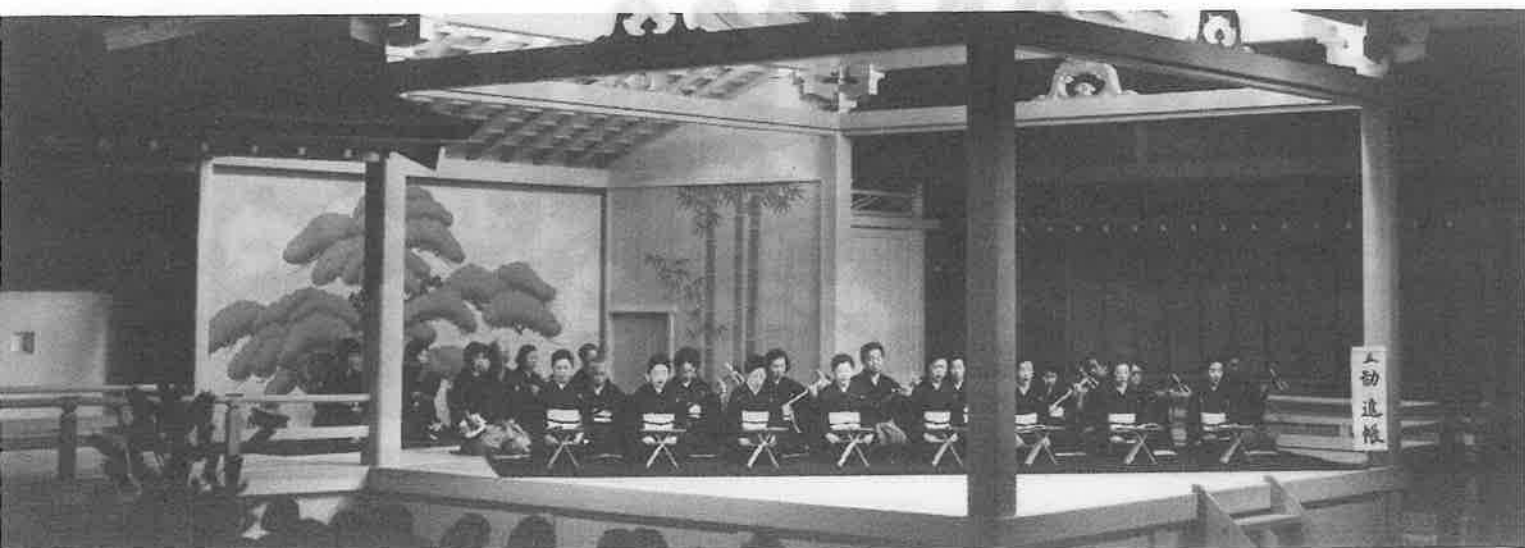
私は大分県日本舞踊連盟会長（三期）として任期中、また花柳笹之丞個人の笹和会々長として、今までに開幕・中幕・閉幕行事に幾度か参加の栄誉を担い、その都度身に余る芸術祭賞等を頂き、その感激は終生忘れることができません。

この度は私の主催する笹和会の内、長唄部門の楽友会（会長芳村伊久之介）として我が国古来の素晴らしき伝統と歴史が盛り込まれた情操教育にも欠かせない、世界に誇れる日本の唄と日本の楽器をもって「豊かに響く長唄の秋」と題し、中幕演奏をさせて頂くことになりました。

今後は将来に向けて中幕公演を頂いた事を機に心機一転し、斯道の正しい伝承に努め益々芸道を通じ、人様のお役に立つよう会員挙げて頑張っていきたい所存でございます。

次に、主な演奏曲目及び出演者は次のとおりです。

- 豊後三番叟
杵屋六多満社中・大分市長唄協会・楽友会一同
- 京鹿子娘道成寺
芳村伊久十成・杵屋五三郎・芳村伊久佳
芳村伊四郎他
- 紀文大尽
芳村伊久葉・宮田哲男他
- 廓丹前
杵屋五三寿郎・芳村伊久志他
- 賤機帯
杵屋五三遊・芳村伊久寿他
- 鳥羽の恋塚
杵屋五三郎・芳村伊久哉他
- 蜘蛛の拍子舞
芳村伊四久美・藤倉修一他
- 豊後春秋（舞踊二題）
イ. 鶴 亀 大分県日本舞踊連盟
ロ. 秋の色種 賛助出演 9名
- 豊後浄瑠璃（渡辺之綱より）
イ. 綱 館
芳村伊久之介・杵屋五三郎・芳村伊四郎・芳村伊十蔵他
- その他
鳴物 堅田喜三久社中一同
日本舞踊 笹和会々長 花柳笹之丞
長唄部門 楽友会々長 芳村伊久之介



第26回大分県芸術祭

閉幕行事について

大分県三曲協会第30回記念

箏・三絃・尺八による古典邦楽演奏会

大分県三曲協会 川口九山

第26回大分県芸術祭閉幕行事として大分県三曲協会第30回定期演奏会公演に当り、「平成を文化で築く豊の国」箏・三絃・尺八による古典邦楽演奏会——と題し、邦楽界のトップクラス演奏家を招き、11月25日(日)13時より県立芸術会館ホールに於て開催することとなった。招演者は東京芸大音楽部講師で文化庁より芸術選奨文部大臣賞受賞の地唄三絃奏者藤井久仁江師と令息・泰和師並びに東京芸大教授で琴古流尺八協会常任理事尺八演奏家山口五郎師の3人。番組は我々三曲協会会員とその門人も加えて編成し、10曲とした。

序曲、菊の寿

三曲合奏 箏20、三絃14、尺八22

1、越後獅子

三曲合奏 箏13、三絃17、尺八14

2、協奏曲風「輪舌」

箏19、十七絃4、尺八25

3、玉川

三絃本手替手合奏 藤井久仁江・藤井泰和

4、残月

三曲合奏 尺八／山口五郎、三絃／藤井久仁江、箏／藤井泰和

5、さらし風手事

箏二部合奏 箏変7、箏低10

6、巢鶴鈴慕

琴古流本曲 尺八独奏／山口五郎

7、影法師

三絃独奏 藤井久仁江

8、奥入瀬川

箏一部15、二部15、十七絃5、尺八17

終曲、霜夜

都都山流本曲 尺八三部合奏30

ちなみに本演奏会の入場券は2,000円。いづみや和楽器・矢野楽器店・トキハプレイガイドで求められる。



芸振新役員 副理事 紹介

→ 今後の芸振の取り組みについて →



副会長 脇 正人

端的に言えば、会の目的の再確認と諸事業の洗い直しの結果、自ら今後の方向が決まるものと思っている。会員がそれぞれ創作の原点に目を向けることが重要。



副会長 中 沢 とおる

副会長就任早々、なにかと、肩書からくる仕事が続々と続いて驚いている。文化の時代到来がそうさせるのだろうが、県民演劇の創作の仕事と歯車をかみあわせ、頑張りたい。



副会長 小 長 久 子

国民文化祭の誘致を要望している現在、芸振は県下の団体の育成と施設の整備に早急に取り組まねばならない。特に大分県都として恥ずかしくない会議の建設を要望すべきと思う。



常任理事 菅 久

昭和45年事務局次長、53年事務局担当理事、60年常任理事時代も引きつづき広報の仕事をした。今回組織担当となったので、広報の経験を生かして芸振の組織を考えていきたい。



常任理事 藤 原 嘉 久

「カルチュア」の語源は「耕作」「栽培」である。仲町新会長を中心に、各文化団体の連携と足腰の強化、そして若い世代の育成をめざす「人づくり」に取り組みたい。



常任理事 十 時 良

- ①文化課、芸振、県芸術祭、文化振興室、等、行政の組織的な調整・統一への働きかけ。
- ②中央指向でない、ローカルでユニークな地元芸術創作団体の育成。



常任理事 倉 田 紘 文

芸術を愛し親しむ者として、外へ外へひろく目を向け、内へ内へ深くものを思えるような姿の集まりでありたい。また「振興」の名に応じて若い人たちの参加を呼びかけたい。

平成2年度 基金事業一覧表

■ 芸振自主事業

区分	期 日	開催地	会 場	公 演 団 体	備 考
ファミリー芸術劇場	7月15日(日)	直入町	中央公民館	県民オペラ協会	PM 2:00
学校巡回公演	7月16日(月)	中津市	和田、今津小	大分大学混声合唱団	AM10:30
	8月21日(火)	安心院町	安心院町中学校	大分県洋舞踊協会	AM11:00
	8月26日(日)	大田村	山村開発センター	大分マンドリンオーケストラ	PM 1:00
	9月18日(火)	耶馬溪町	中央公民館	エリカフラウエンコール	PM 6:30
	11月11日(日)	別府市	野口小学校	大分県人形劇サークル協議会	AM10:00
	"	山香町	立石小学校	大分県人形劇サークル協議会	PM 1:00
文化キャラバン	6月20日(休)	山国町	社会福祉センター	グループ U N O	PM 2:00
	8月7日(火)~9日(休)	三重町	公民館	大分県美術協会	AM9:00~PM4:00
	11月18日(日)	大野町	開放会館	大分県庁職員吹奏楽団	PM 2:00
	11月25日(日)	武蔵町	中央公民館	大分中央合唱団	PM 1:00

■ 海外派遣事業

氏 名	年齢	推せん団体	職 業	部 門	派遣先	期 間	研修内容
久保木 眞 人	37	県美協	県立芸短大助教授	美術(工芸)	アメリカ	7/27~8/26	アメリカの現代工芸
清 末 典 子	29	県民演劇制作協議会	ピアノ講師	演 劇	ソビエト	平成3年2月	ソビエト演劇理論

県洋舞界の歩み(4)

湯原恭子バレエ研究所 湯原 恭子

昭和38年6月急逝された安部峰子先生の研究所を続けていくため東京での研修を途中でやめ、笹本公江先生の支持で笹本公江バレエ学園大分教室別府教室としてスタートした。

当時、大分ではご活躍の先生方がいらっしゃり、早速、県洋舞踊協会に入会し合同公演等、現在まで一緒に歩んでいる。当時の大分には今のようなホールがなく、デパートの文化ホールの増設舞台でこわごわ踊ったことが思い出される。発表会10回を機会に別府教室を湯原恭子バレエ研究所と改名する。

レニングラード・バレエ学校短期留学に参加し、基礎的なレッスンの大切な事をあらためて確認する。私はクラシックバレエを通して何かを収得し、また探求して新しい作品にとりくみたいと思っている。クラシックの作品を上演するにしても、解釈により、かなり出来上りはちがったものになる。

別府にホールが早く建設され、公演の出来る日が一日も早く来ることを祈る。

笠木啓子バレエ研究所 笠木 啓子

昭和34年に執行正俊バレエ団及び、松山樹子バレエ団で研修、昭和36年、大分市にバレエ研究所を開設した。当時大分市では、平瀬克美先生をはじめ、安部峰子(故)先生、伊坂里美先生、佐藤朱音先生が、研究所を主宰して、ご活躍中であった。すでに、大分県洋舞踊協会が設立、私は第2回の合同公演から参加している。

以後、帰京してのテーマは、まず、大分市の地にもクラシック・バレエ(全幕)上演の機会をと、心血をそそいできた。これまで、クラシック・バレエの代表作「コッペリア」、「白鳥の湖」、「くるみ割り人形」、「眠れる森の美女」、等に挑戦、ほとんどの全幕ものを上演してきた。

地方での全幕上演は、人材不足もあって、スタッフの問題、男性舞踊家、そしてセット等、手作りとはいかず、東京からトラックで運ぶ等々、経済面でも大変な事であった。幸い、恩師・粕谷辰雄先生の温かいご指導のもとに、つぎつぎと総合芸術としての舞台を創れた事は、感謝にたえません。

また、中央の空気を呼吸したいという願いで、昭和40年から49年の9年間は、全国舞踊コンクールに参加。私の作品13曲が、すべて上位入賞。昭和45年には、第1位文部大臣奨励賞受賞、同時に外作品も2位、3位と受賞した事は、とても思いがけない事であった。

諸先輩の試金石の上に、歩を進めてこれたわけですが、県舞踊界30年の歩みの中で、当研究所出身の男性舞踊家2名、女性舞踊家4名が、現在日本バレエ界の第一線で活躍している姿に接する時、若い舞踊家のより一層の活躍を祈りたい。

お知らせ

芸術文化振興基金

日本芸術文化振興会基金部の基金助成活動についてお知らせします。基金の助成は「優れた芸術文化の多彩な展開とその普及」及び「文化によるまちづくり」への支援を目的とし国民が芸術文化に親しみ、自らの手で新しい文化の創造・環境の醸成という観点から職業的芸術団体並びにアマチュア、青少年、婦人等の文化団体、地域の文化施設、文化財、保存団体の助成の対象とすることになっています。

● 芸術文化振興基金助成活動の募集について

1. 芸術家及び芸術に関する団体が行う芸術活動、優れた芸術団体等が行う次の活動

- (1) オーケストラ、オペラ、合唱、室内楽、バレエ、現代舞踊、演劇等の公演
- (2) 文楽等の伝統芸能の公開
- (3) 美術の展示
- (4) 映画の製作
- (5) 先駆的、実験的な公演・展示

2. 地域の文化の振興を目的として、特色ある文化施設、あるいは文化財を活用した町づくり活動等を援助する。

- (1) 文化会館・美術館が行う公演・展示
- (2) 町並みや歴史的集落の保存・活用活動
- (3) 民俗文化財の公開・復活・復元・伝承活動

3. 文化に関する団体が行う文化の振興、又は普及を図るための活動

- (1) アマチュア、青少年、婦人等の文化団体が行う公演・展示
- (2) 伝統工芸技術の復元及び伝統工芸技術・文化財保存技術の保存伝承活動

● 助成対象者

芸術文化の振興普及を目的とする社団・財団等の公益法人、その他組織運営面で一定の要件を満たす団体、また先駆的・実験的芸術活動として芸術家個人及び地方公共団体が、それぞれ対象となります。

● 芸術文化振興基金助成活動の募集について

1. 募集の内容

助成対象活動は次の項目であり、平成2年度については、平成2年4月1日から平成3年3月31日までに実施される活動です。募集は毎年度1回、公募を原則として行われます。また、地域文化活動等のように都道府県教育委員会等を通じて募集される活動もあります。

- ①地域文化施設公演・展示活動
- ②歴史的集落・町並みの保存活用活動
- ③民俗文化財の保存活用活動
- ④地域・参加型文化活動
- ⑤伝統工芸技術・文化財保存技術の保存・伝承等活動

2. 応募の手続き

助成を希望するものは、「助成金交付要望書」を期間内に直接又は都道府県教育委員会を通じて日本芸術文化振興会に提出することになっています。平成3年度の募集がはじまりましたら、またお知らせします。

● お問い合わせ及び提出先

大分県教育委員会管理部文化課

〒870 大分市府内町3丁目10番1号

TEL0975-36-1111(内線4272) 直通0975-36-0522 FAX0975-36-1680

日本芸術文化振興会基金部

〒102 東京都千代田区隼町4番1号 国立劇場本館内

TEL03-265-7411(代表) FAX03-265-7474

事務局だより

本年度芸振役員・事務局員名簿

▶ 役員名簿

役職名	氏名	団体名	役職名	氏名	団体名
名誉会長	狭間 正年	大分県俳画同好会	顧問	宮崎 豊	県美術協会
顧問	河野 彰	チャーチル会大分		野崎 哲	大分第九を歌う会
	浜田九一郎	県美術協会		田村 卓夫	県傘川柳連合会

役職名	氏名	団体名	役職名	氏名	団体名
会長	仲町 謙吉	県美術協会会長	理事 (団体代表)	中野 幸和	県職場音楽連盟
副会長	脇 正人	県美術協会副会長		糸永 信義	県吹奏楽連盟
	中沢とおる	県民演劇制作委員		深田 光壺	日本詩道会
	小長 久子	県民オペラ協会会長		板井南桜山	萬謡会
監事	佐藤 朱音	県洋舞踊協会		花柳昌吉郎	県日本舞踊連盟
常任理事	菅 久	県美術協会		伊坂 香里	県民踊連盟連合会
	藤原 嘉久	大分県口語俳句会		杉原 昌子	県洋舞踊協会
	十時 良	県美術協会		首藤 悦爾	県児童文化研究会
	倉田 紘文	県俳句連盟		加来 熙	県民演劇制作協議会
理事 (団体代表)	日野 正美	県歌人クラブ		須崎 俊郎	県高等学校文化連盟
	佐藤真佐延	県傘川柳連合会		佐々木均太郎	別府大学教授
	波多野義孝	県宣伝美術協会		狭間 久	大分合同新聞特信局次長
	堤 碓山	県美術協会		尾登 一信	大分市民劇場会長
	大崎 聡明	県美術協会	木村 成敏	県文化団体連絡協議会代表幹事	
	脇坂 秀樹	県美術協会	宮瀬香多士		
	山本 勝彦	県音楽協会	山村 晃	大分市教育委員会社会教員課長	
	梅津百合子	県民オペラ協会	安部 秋	県芸術会館副館長	
川口 九山	県三曲協会				
			理事 (学識経験者)		
			理事 (関係行政機関)		

▶ 事務局員

役職名	氏名	団体名	役職名	氏名	団体名
事務局長	後藤 正二	県教育委員会参事兼管理部文化課長	事務局	今永 一成	県教育委員会文化課管理係長
事務局次長	林 英輝	県教育委員会文化課長補佐		笹島 豪二	県教育委員会文化課文化企画係長
	本田 満子	県芸振会議事務局次長		徳谷 晃一	県教育委員会文化課文化企画係主任
	日名子金一郎	県美術協会員		渡辺真奈美	県芸振会議事務局書記
	辛島 光義	県音楽協会員			